

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANAクラウンプラザ
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第194回 例会

2017年8月9日 13:00

- 司 会：島村恵三 例会運営・司会委員
- 斉 唱：我等の生業
- 出席報告：出席者数 27名 / 会員数 41名
出席率 65.85
前々回(192回) *親睦夜間例会
修正出席率 67.5% (27/40)
- ゲ ス ト：東名古屋分区ガバナー補佐 本多満様
地区副幹事 清水順二様
地区スタッフ 加藤友康様
分区幹事 野原秀雄様
IM 実行副委員長 岩口孝一様
名誉会員 八神 基様

ニコボックス

- ゲスト本多様、清水様、加藤様、野原様 4名様より
 - ガバナー補佐本多さまようこそ。新入会員の山田さんをよろしくお願ひいたします。(八神名誉会員)
 - 本日はガバナー補佐をお迎えしての例会です。本多様、清水様、加藤様、野原様、岩口様よろしくお願ひ致します。(藤谷会長)
 - 残暑御見舞い申し上げます。いよいよ本格的な残暑です。お身体ご自愛くださいますように。感謝(櫻井直前会長)
 - 本多様、清水様、加藤様、野原様、岩口様本日はありがとうございます。(深見幹事)
 - あつい日が続いています。皆様御自愛下さい。(安井戦略委員長)
 - 本多ガバナー補佐、本日はアイリスへお越しいただきありがとうございます。点鐘の鐘は20年前に東RCから亡き父にいただいた鐘です。触ってやって下さいませ(荒山久美さん)
 - 今月より入会しました。どうぞよろしくお願ひ致します。(山田智博さん)
- 以上11名 ニコボックス合計 19,000円

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

本日は、「東名古屋分区ガバナー補佐 本多満

様」、「地区副幹事 清水順二様」、「地区スタッフ 加藤友康様」、「分区幹事 野原秀雄様」をお迎えしての例会であります。

さて、皆さんご存知のようにロータリーでは、毎年8月から翌年度の6月まで月間や週間、あるいは日の単位で特別なテーマが17個決められています。今月8月は、第一番目の「会員増強・新クラブ結成推進月間」となっております。そこで皆さんと少しだけ考えてみたいことがございます。



近年、時代が急激に変化し、以前とは価値観が大きく異なる世代が増えています。私たちロータリークラブだけではなく、あらゆる団体や機関が、その変化に直面しております。それは入会者の減少と退会者の増加であります。名の通った宗教団体ですら、同じ現象に悩まされているようです。どの団体も高齢化し、若者の比率が下がり、考え方や倫理観の温度差も表面化し、意思の統一が難しくなり、方向性を失い崩壊に向かってゆくという一種の社会現象の波にさらされています。私たちロータリークラブも例外ではなく、会員減少の流れの中にいます。国際ロータリーの2016年度規定審議会では、以前では考えられなかったロータリー史に残る多くの重要な決定が行われました。

例えば、「例会は1か月に2回以上であれば良い」、「祝日のある週はクラブ例会の取り消しができる」、「子供の誕生等で12か月以上の欠席を認める」、「正会員のサブカテゴリーに準会員、家族会員等が可能」など、長くロータリーを経験し、伝統を守ってこられた会員には、理解しがたい項目が列記されております。これらが会員の増強、退会の防止を意味することは、容易に想像できます。もちろん、これらはクラブの裁量で任意に決定できる項目であり、現段階では強制ではありません。

今、この時代の変化に国際ロータリーは柔軟に適応しようと努力をしています。私たちは、どの時代にも

不変の価値観を持ち、自ら入会したくなるクラブを作り上げることで、会員の増強を行い、退会の防止に全力を上げなくてはなりません。

まず、クラブの活性化、本当の意味での親睦の強化、だれもが例会に来るのが楽しみになるようなクラブ作りが重要です。私たち、お互いは生きている事、生かされている事を知り、感謝の気持ちで、人々に奉仕をしましょう。そこで感じた心の充実や感動を人に伝えることが、自然にロータリーへの入会を奨励することとなる事でしょう。

なぜロータリーに入会しているのかと問われたときに、明快な回答ができるかどうか、私たちは常に自問自答する必要があるのではないのでしょうか。

当クラブの会員のほぼ全員が、5年未満のロータリー経験しかありませんが、共に奉仕をする事で、自分にとって特別な意味のある体験を持てるようになる事でしょう。物事を説明するときに数字や説明だけでは、なかなか相手に伝わりません。自分の感動した体験だけが、相手に伝わり、一人の生涯の仲間を築くこととなります。その感動というメッセージは同時に会員増強と維持につながる事でしょう。

私たち、一人一人が、これから自分にとって心に残るロータリー体験を持てることを祈り、本日の会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

■委員会報告

8/4に財団セミナーに出席してきた件

W F F についてなどの報告がありました。

■卓話

本多満がバナー補佐



I. M. 実行副委員長 岩口孝一様より

